

1 題材の目標及び題材構想

「ミニラックの製作」(10時間完了)

(1) 題材の目標

- ① 道具の使い方に関心を持ち、緻密さへのこだわりをもって製作しようとする。
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- ② 失敗した原因について考え、解決方法を追究し、その後の製作活動に生かすことができる。
(生活を工夫し創造する能力)
- ③ 道具を適切かつ安全に使用し、材料や作業内容に適した加工方法を身に付けることができる。
(生活の技能)
- ④ 道具の特徴を知り、製作に必要な加工方法や道具の使用方法を理解することができる。
(生活や技術についての知識・理解)

(2) 評価規準に盛り込むべき事項

生活や技術への関心・意欲・態度・・・【関】	道具の使い方に関心を持ち、緻密さへのこだわりをもって製作しようとしている。
生活を工夫し創造する能力・・・【工】	失敗した原因について考え、解決方法を追究し、その後の製作活動に生かそうとしている。
生活の技能・・・【技】	道具を適切かつ安全に使用し、材料や作業内容に適した加工方法を身に付けている。
生活や技術についての知識・理解・・・【知】	道具の特徴を知り、製作に必要な加工方法や道具の使用方法を理解している。

(3) 題材構想

各過程のねらい	時数	学 習 活 動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
○木材の性質を知り 緻密さへのこだわりをもってものづくりに取り組む気持ちを高める。	1	1 緻密さへのこだわりをもったものづくりについて考える。 ・先輩の作品のよい点について考える。 ・緻密さへのこだわりについて話し合う。 2 木材が使われているものを考える。 ・身のまわりには、木材を使ったものがたくさんあることを確認する。 3 木材の性質について考える。	・精巧につくられた先輩の作品を提示し、緻密さへのこだわりに着目させる。 ☆緻密さへのこだわりをもって製作に取り組もうとする気持ちを高めることができたか。 (ワークシート①・発表)【関】 ☆木材がどこに使用されているのか考えることができたか。 (ワークシート①・発表)【関】
○道具の特徴と使用方法を知り、緻密	8	4 けがきの方法を知り、正確にけがきをする。	・金属やプラスチックと木材を比較しながら考えさせる。
			・材料取り寸法線と仕上がり寸法線を意識させる。

<p>さへのこだわりをもってミニラックの製作ができる。</p>		<p>5 両刃のこぎりの特徴と使用方法を知り、正確に切断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両刃のこぎりを観察し、気付いたことを発表する。 ・切断の仕組みを調べる。 <p>・両刃のこぎりは引いて切るから刃が柄の方を向いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木目によって使い分けるために刃が二種類ある。 ・切る幅を広くするために刃が振り分けられている。 <p>6 かなの特徴と使用方法を知り、正確にかながけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮しながら、かなげずりをする。 <p>・こぼけずりは長い削りくずが出る。</p> <p>・こぐちけずりは細かい削りくずが出る。</p> <p>7 四つ目ギリの特徴と使用方法を知り、正確に下穴をあける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下穴をあける理由を考える。 <p>・くぎを打つ位置を決めるため。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くぎをまっすぐに保持できるため。 ・板材の端が割れるのを防ぐため。 <p>8 接合の手順を確認し、正確に組み立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人一組で接合を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・両刃のこぎりの刃に着目させ、グループで切断の仕組みについて調べさせる。 <p>☆両刃のこぎりの構造上の工夫に気づき、正しく安全な使い方を身に付けている。</p> <p>(ワークシート②)【工】 (観察・切断面の点検)【技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が師範し、刃先の出によって削りくずの厚さが違ってくることを押さえる。 ・けがの防止のため、材料を固定する手の位置に配慮させる。 <p>☆こぼけずりとこぐちけずりの仕方を理解し、正しく安全な使い方を身につけている。</p> <p>(テスト)【知】 (観察・切削面の点検)【技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キリは、押さえながら回すことを意識させる。
<p>○さらに実用性の高い作品製作に取り組みたいという意欲をもつことができる。</p>	<p>1</p>	<p>9 完成したミニラックを活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家に持ち帰り、家族からもらった評価から、発展単元への意気込みを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接合は二人一組で行わせる。 ・げんのうの柄じりに近い方を持たせる。 <p>☆げんのうを正しく安全に使い、緻密さにこだわって組み立てることができる。</p> <p>(観察・作品の点検)【技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニラックを持ち帰り、家族から評価してもらう。 <p>☆学習を振り返るとともに、基礎単元で学んだことを発展単元に生かそうとしている。</p> <p>(ワークシート③)【関】【工】</p>